

北陸建工グループ(株式会社建工ホールディングス)

富山県滑川市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

不可能を可能にする鉄のスペシャリスト 「より正確に、より速く、より安く」をモットーに「100年続く企業」をめざす

- 日本海側屈指の大型加工機を導入し他社ができない付加価値の高い製品を製造している
- 資材調達から出荷までワンストップで行い、より正確に・より速く・より安くを心がけ製造を行っている
- 同業他社が不得手な製造技術に特化することで製品の優位性を高めている

企業基本情報

| | |
|--------|----------------------------------|
| 所在地 | 富山県滑川市安田 200-8 |
| 電話/FAX | 076-476-0300/076-475-6264 |
| URL | http://www.hokuriku-kenko.co.jp/ |
| 代表者 | 代表取締役社長 酒井 洋 |
| 設立 | 1992年 |
| 資本金 | 1,000万円 |
| 従業員数 | 260人 |



会社概要

1977年に設立された北陸建工(株)を中核とし、事業拡大とともに鉄板溶断事業を分社化した北陸熔断(株)、曲げ加工部門を分離独立した北陸鋼産(株)を設立。

グループ各社の技術連携により、資材調達から設計・材料加工・切断・曲げ・組立て・塗装・出荷までのワンストップサービスを提供している。また、同業他社が不得手、あるいは不可能な鋼構造物の製造技術に専門特化し、あらゆるニーズに対応している。

平成29年度富山県中小企業経営モデル企業指定。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 日本海側屈指の大型加工機を導入し付加価値の高い製品を製造

大型プレス機(1,400t)を活用し、12mの長さの鉄板を曲げ、大型の鉄塔を製作している。日本海側屈指の大型ショットブラストを活用し、鉄鋼製品の表面加工を実施している。最長13mまでの長物に対応できる孔明け加工機(オートボーラー)を導入し加工を実施している。工場は国土交通省Hグレード認定を受け、ISO9001・14001認証も取得し、品質の高い製品を製造している。

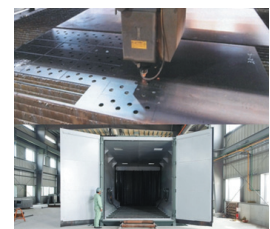


大型プレス機

▶▶▶ 資材調達から出荷までワンストップで行っている

グループ各社の連携と総合力により鉄鋼構造物製造において、資材調達から設計・材料加工・切断・曲げ・組立て・塗装・出荷までワンストップで行い、正確に・速く・安くをモットーに製造を行っている。生産拠点を新設(移転集約)し効率化を図っている。生産性向上に向けた各種設備投資の実施や生産管理システムによる効率化及びそれともなう労働時間の短縮を実現している。

グループ各社の財務部門を(株)建工ホールディングスに集約し一元管理により効率化を図っている。



レーザー切断機、大型ショットブラスト

▶▶▶ 同業他社が不得手な製造技術に特化し製品の優位性を確保

同業他社が不得手、あるいは不可能な鋼構造物の製造技術に専門特化しその技術力を活かし照明鉄塔の分野では国内シェア第1位、トンネル用型枠で第2位となっている。名古屋駅前に建つタワービルの特殊鉄鋼、プロ野球場の照明鉄塔など、全国の著名な建造物の建設に関わっている。

国土交通省Hグレード認定を受け、ISO9001・14001認証も取得し、品質の高い製品を安定して供給している。



建築に携わったタワービル